

[主催] 同志社大学 一神教学際研究センター (CISMOR)
科学研究費補助金『中東における紛争防止の学際的研究の構築』（研究代表者：中西久枝）
[共催] 同志社大学 神学部・神学研究科

公開講演会

Peace and Security in the Middle East: From Iran's Perspectives

【講師】

Mahmood Sariolghalam

Professor of Shahid Beheshti University

Seyed Mohammad Kazem Sajjadpour

Professor of School of International Relations

【司会／コメンテーター】

Hisae Nakanishi

Professor of Graduate School of Global Studies, Doshisha University

2010年11月26日（金）13:00—15:10

同志社大学新町キャンパス 臨光館 2F R212 教室



Admission Free, No Reservation Necessary

This lecture is given in English.

Inquiry: 075-251-3972 (CISMOR)

E-mail: info@cismor.jp

HP: <http://www.cismor.jp/>

【プログラム】

- 13:00－13:40 “Iran’s Foreign Policy since 9.11”
by Mahmood Sariolghalam
- 13:40－14:20 “Iran’s Security Policy: with Special Focus on Afghanistan”
by Seyed Mohammad Kazem Sajjadpour
- <Pause>
- 14:30－14:45 Commentator’s Remarks
by Hisae Nakanishi
- 14:45－15:10 Q & A

【講師紹介】

Mahmood Sariolghalam (マフムード・サリオルガラム)

サイドベヘシュティ大学政治・経済学部教授。オハイオ州立大学にて博士号（国際関係学）を取得し、その後サイドベヘシュティ大学にて准教授を経て、教授、現在に至る。

専門は国際紛争管理、発展途上国の経済問題、中東の国際政治。英語、ペルシャ語、アラビア語でイランの国内政治、イラン・米国関係、イランの外交に関して多くの著書を発表。ハタミ政権下では外交問題顧問を担当し、過去 15 年間、イランの国際政治・外交に関する研究の第一人者として多くの国際会議に出席し、活躍中。

Seyed Mohammad Kazem Sajjadpour (サイイド・モハンマド・カーゼム・サッジャドプール)

イラン国際関係大学院教授。外交官。イラン国際問題研究所所長、ジュネーブ国連大使などを歴任し、現在、イラン国際関係大学院教授。

専門はイランの湾岸、中央アジアに関する外交政策及び軍縮。ペルシャ語、アラビア語、英語でイランの外交政策に関する論文を多数発表、現在もペルシャ語の新聞のコラムニストを務める。1999 年、2000 年、日本国際問題研究所主催のイラン・日本対話国際シンポジウムにイラン代表団団長として来日し、イラン・日本の友好関係に尽力した。欧米にて多くの国際会議に外交官として出席し、外交交渉に当たる。

・・・次回講演会のご案内・・・

【主催】同志社大学一神教学際研究センター、【共催】同志社大学神学部・神学研究科

第 1 プロジェクト公開講演会 「ローマ法王の悩み」

【講師】上野景文（前駐ヴァチカン大使）

2010 年 12 月 18 日（土）13：00－15：00

同志社大学今出川キャンパス 神学館 3 階礼拝堂